

11 テングコウモリ

(ヒナコウモリ科)

兵庫県ランク:要調査

Murina hilgendorfi

環境省ランク:-

種の概要

全国で生息が確認されている。大木の多い地域では樹洞を利用するが、洞穴性で廃坑や自然洞窟からもよく見つかる。単独でいることが多い。鼻孔が外側に向かって筒状に突起していることからその名がついている。9g～15gと比較的大きい。体毛は灰褐色で先端に銀色の光沢を帯びた刺毛に覆われ毛深く見える。



写真提供:北垣 和也

県内における生息状況及びその他特記事項

2000年代になって県南部で生息が確認されている。いずれも鉱山や坑道跡地から、繁殖期以外に数十頭単位のコロニーが確認された。西宮市では10頭程度の繁殖コロニーが発見されている。県北部からの情報が少ない。森林内を主な採食場所にしていて考えられているが必要な生息環境はわかっていない。

保護上の留意点

生息状況の把握に努める必要がある。

県内分布

西宮市、宝塚市、川西市、猪名川町、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、朝来市

【執筆者】横山 真弓

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	△
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

